

## 第5回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成24年1月26日(木) 10時～11時30分
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 江原武一委員、菅谷文則委員、仲川順子委員、前原金一委員  
長友学長、生田理事(教育)、宮崎理事(総務)、伊豆蔵副学長(企画)、佐野副学長(研究)  
陪席者 鷺山理事、藤巻監事
4. 議 題
  - ◎審議事項
  - 1 奈良教育大学附属幼稚園通園路の拡充工事について(資料1)
  
  - ◎報告事項
  - 1 平成24年度運営費交付金等予算額(案)の内示について(資料2)
  - 2 委員会組織等の改編について(資料3)
  
  - ◎その他
5. 議 事
  - ◎審議事項
  - 1 奈良教育大学附属幼稚園通園路の拡充工事について  
総務担当理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、通園路拡充区域は旧軍隊跡地として貴重な歴史遺物であることから、歩道をかさ上げするなど土塁の破壊を防ぐ工法を奈良市と協議したうえで、工事に取り掛かることが了承された。  
主な意見は以下のとおり。
    - 旧軍隊(38連隊)跡地は奈良県の貴重な歴史遺産である。何とか保存出来ないか。
    - 一度土塁が崩されてしまうと、今後、なし崩しになる恐れがある。国から市に移管された日を調査し、奈良市とは強い立場で交渉を行ってほしい。
  
  - ◎報告事項
  - 1 平成24年度運営費交付金等予算額(案)の内示について  
総務担当理事、会計課長から、資料3に基づき、平成24年度運営費交付金等予算額(案)の内示、並びに、国立大学改革強化推進事業等について報告があった。  
主な意見は以下のとおり。
    - 13頁「4. 補助率 定額」の定額とは。  
→査定を受けた額。査定額の100%。
    - 国立大学が法人化され、かなりの年数が経つ。資料名が「文部科学省関係予算案・・・」となっているが、本来は、「奈良教育大学予算案・・・」とするべきではないのか。
  
  - 2 委員会組織等の改編について  
総務担当理事から、資料6に基づき、平成23年度後期授業料等免除可能額について報告があった。  
主な意見は以下のとおり。
    - 教授会で委員会委員を選出する方法に違和感を感じる。学長が委員長、委員を選任すべき。現組織は、変革を求められる今の時代にそぐわない。機能しない。将来的に改善を期待したい。

- 大学の教授会は力をもっている。教員の能力をうまく引き出す組織が効率的で良い。最終の意志決定を学長が行えばそれで良い。
- 9月入学は海外の約半数の大学で既に行われている。東京大学単独で9月入学を行うことも十分可能。現状、従業員数5万人の会社であれば、日本人が1.5万人で海外が3.5万人程度。売り上げも同程度の割合である。日本の学生の質は低下していると言われている。改善を期待する。
- 教師となる学生の国際感覚を磨く必要がある。学生に国際力を身に付けさせる為には、3ヶ月程度の留学でも有益である。教員養成のあるべき姿を追及してもらいたい。
- 外国人教員にどのような教育を担ってもらうのか。
  - 国際理解教育として実践は必要。子どもを教える教員のグローバル化も重要。